

とらじんまのり

Tojinkyo SSKA

春号・総会議案集
合併号

No.241・2023 5.15

おもな記事

NPO法人東腎協第18回総会議案……………	1
活動のまど……………	16
リレーエッセイ……………	17



 特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会
(NPO 東腎協)

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-40-11 富士大塚ビル2F TEL03-3944-4048 FAX03-5940-9556
<http://www.toujin.jp/> E-mail info@toujin.jp

2022年度事業報告

1. はじめに

2022年度は新型コロナウイルス第7波、第8波と感染拡大が続いた後収束に向かい、厚生労働省は2023年3月にマスクの着用は個人の判断に委ねられる一方で、患者が医療機関を受診するとき等はマスク着用が効果的な場面としています。日本透析医学会、日本透析医学会、日本腎臓学会「新型コロナウイルス感染症合同委員会」は、高齢で重症化リスクの高い透析患者は、透析施設ではこれまで同様マスク着用を推奨するとの考えを明らかにしました。2023年度も引き続き慎重に対応し諸活動に取り組みます。

2022年度東腎協は、結成50周年を迎え、コロナ禍の

周年事業として「結成50周年記念式典」「50年誌あゆみ」会員実態調査」を実施しました。実施に伴い、日本腎臓財団様よりご協力いただき募金活動を行い、透析医療関係者、透析施設、患者会、個人の方々から多額の寄付金を頂き、厚く御礼申し上げます。

東腎協はこれ他、臓器移植普及推進キャンペーン、CKD啓蒙活動「都民の集い」などの社会貢献活動に取り組み、総会、記念大会、理事会などは、リモート(Web)と対面式で行いました。一方、会員・役員の高齢化を背景に透析施設内での活動が難しく、患者会の存続が一段と厳しくなり組織の弱体化が進行しました。

2. 透析患者をめぐる情勢

(1) 2021年末慢性透析患者の現状

(表1. 2021年12月末慢性透析療法の現状：日本透析医学会資料)

(全国の慢性透析患者の特徴)

① 2021年末慢性透析患者349,700人(前年比2,029人増)

② 2020年末透析患者の平均年齢69・67歳(前年比0・27歳増)

③ 2020年末新規導入患者の平均年齢70・9歳(前年比0・02歳増)

(2) 透析患者の医療費をめぐる情勢

① 各種医療費助成制度について

2022年度東京都の公費負担医療制度については、大きな変更がなく治療を受ける

表1 2021年12月末 慢性透析療法の現状
日本透析医学会資料

透析施設数	4,508施設	15施設増
慢性透析者	349,700人	2,029人増
新規導入患者数	40,511人	233人減
死亡患者数	36,156人	1,742人増
導入平均年齢	70.9歳	0.02歳増
患者平均年齢	69.67歳	0.27歳増
最長透析者	52年4ヶ月	

ことが出来ました。東京都の「マル障」(心身障害者医療費助成制度)は、65歳以上の新規透析導入患者は助成対象外となっていますが、「マル都」(人工透析医療費助成制度)により多くの患者は、自己負担がなく人工透析が受けられています。この制度は2023年度以降も引き続き守っていかねばなりません。

医療保険制度では、後期高齢者医療制度で2022年10月より一定所得以上は1割負

担から2割負担（現役並み所得者は3割負担）になりました。多くの透析患者は65歳から利用し、負担割合が増えることで自治体の公費医療費助成制度負担増による制度の後退が懸念されます。また、後期高齢者医療制度の負担割合が今後さらに引き上げられることがないように注視していく必要があります。

介護保険については、公的な助成制度がなく、通院支援や訪問介護（家事援助等）の利用者負担、介護老人保健施設や介護老人福祉施設でのホテルコスト（居住費、食費等）や一定の資産保有者への補足給付の廃止などによる利用者負担が大きな課題となっています。また、施設入所では、透析患者を受け入れる施設が限られ、透析患者が高齢化し長期療養や介護支援が必要な患者が増加する中、必要なサービスが十分受けられない状況が続いています。

②診療報酬の改定について

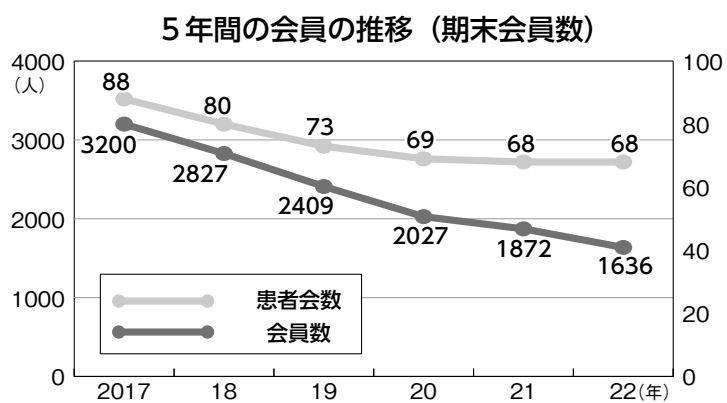
2022年4月に診療報酬改定が行われ、人工腎臓用特定保健医療材料（ダイアライザー）や人工腎臓（慢性維持透析を行った場合の技術料）、外来医学管理料（検査費用）などについては、下げ幅は低いものの引き下げが行われました。夜間加算、休日加算、導入期加算（1、2）、障害者加算などについて変更はなく、在宅血液透析管理料の引き上げや在宅自己腹膜灌流（CAPD）モニタリング加算の新設など在宅治療に重点を置いた改定となりました。

なお、透析中の運動療法に新たな加算がついたものの透析を取り巻く治療環境に大きな変更はなく、2024年改訂に向け2023年度は、情報収集等改定に向けた取り組みが必要です。

3. 東腎協の患者会の現状

（1）患者、患者会の現状

（表2 過去5年間の会員推移）



①2022年度患者会の動向について

患者会の現状は、新型コロナウイルス感染症による影響で、患者会総会、役員会、例会、学習会などがほとんど開催されませんでした。さらに、透析患者の高齢化や後継者不足などから患者会活動の休止、

解散などが増えてきました。その結果、2022年度期末会員数は1636人（前期比マイナス236人）となりました。まず会員減少が進みました。

一方、役員の死亡により患者会の財政や組織管理が不明となり、患者会の維持が危機状態に陥った際に、透析施設の事務長様や施設長様のご支援とご協力で、患者会の再生・継続がされたという教訓的な事例も生まれています。

東腎協としては、役員不在や施設の協力が得られず組織の維持継続が難しくなった場合、組織としての患者会の名前は残して個人会員への移行を推進しています。機関誌の配布や会費の納入などは一時的に事務局が代行します。問題が発生した場合に、すぐに東腎協事務局や理事・役員にご相談してください。暫定的な対応策や施設への援助要請など積極的に対応します。

②患者会は全腎協、東腎協運動の力ナメ

「いつでもどこでも誰でも安心して透析を受けられる医療体制」の維持・継続のためには、全腎協、東腎協の存在は欠かせません。その構成員である患者会・会員の存在意義は会財政を支える意味でも重要です。高齢化による役員不足などいろいろ問題を抱えています。事務局や東腎協役員に気軽に相談してください。よろしくお願いいたします。

③未組織施設への取り組み

2022年3月に、東京都透析医会会長安藤亮一先生、東京都透析医会災害対策委員長花房規男先生、東京都区部災害時透析医療ネットワーク代表世話人酒井謙先生、菊地勘先生、三多摩腎疾患治療医会理事長要伸也先生の連名で、「NPO法人東腎協機関誌・入会パンフレット常備のお願い」文書を作成しました。同

文書を添え昨年度に続き、東京都の透析施設（約400施設）に、東腎協機関誌、入会パンフ等を常備していただくことを要請しました。多くの患者に東腎協、全腎協を知ってもらい将来会員増強に繋がることを期待したいと思います。

4. 2022年度の事業報告

(1) ブロック・青年部・地域腎友会その他の活動報告

□23区ブロック報告

ブロック長 古暮宏

23区ブロックとして新たにスタートすることになりました。活動計画では7月、11月に正会員会議、個人会員会議を、9月に勉強会を開催する予定でしたが数波の新型コロナウイルス感染拡大のため、すべての計画を残念ながら中止せざるを得ませんでした。

□多摩ブロック報告

ブロック長 横溝久美子

コロナ禍で正会員会議、個人会員交流会、学習会は出来ませんでした。患者会実態アンケートを実施、それぞれの患者会の実態調査を行いました。約半数の患者会から回答があり、役員不足による活動の停止、機関誌の配布など苦労している状況が分かりました。集計報告は全患者会に報告しました。

□青年部長 小林正和

昨年度もコロナの影響で、左記の活動しか出来ませんでした。○8月28日(日)全腎協青年研修会 ○11月20日(日)神奈川県腎友会青年部主催勉強会(対面)

□QOL向上委員会

委員長 古暮宏

「会員実態調査」でも「透析中に運動している」と回答された方は3・1%で、腎臓

リハビリテーションの啓発活動が課題となっていますがコロナ禍もあって東腎協としての取り組みは出来ませんでした。

「東京歩こう会」を再開致しました。11月13日昭和記念公園を訪ね、見頃を迎えた紅葉やイチョウ、季節の花を眺めながら晩秋の一日を仲間と語らいながら楽しみました。

(2) NPO東腎協の活動報告

①東京都透析医会との連携

本年度は2回開催された東京都透析医会災害対策委員会(Web会議)に参加させていただきました。新たな動きとしては、災害時に透析医療を確保するための各ネットワークのブロック単位および区市町村単位の先進的な取り組みの事例収集が進められました。東京都福祉保健局ではこれをとりまとめ、ホームページ等で公開し広く周知することとしています。これにより、

東京都の全ての区市町村での災害対策の取り組みが進められていくことが期待されます。

また、行政も参加している広域連携会議も進められており、当初の埼玉県、群馬県、栃木県、東京都から、神奈川県、千葉県、新潟県が加わり、さらにはオブザーバーとして茨城県が参加するようになり、広域連携ルール、設置要項を策定しているとの報告がありました。

東京都一部災害時透析医療ネットワークでは平成22年に作成された「患者向けマニュアル」の改訂版を3月に発行しました。このマニュアルは都支部の施設に各1冊ずつ配布され、希望する施設には販売を予定していることです。

②東京都予算要請

東京都への2023年度予算要請は、10月4日（火）リモートで行い、9つの大項目

と16の小項目を要請し回答を得ました（機関誌「とうじんきょう」No.239秋号に要約を掲載）。

（要請9大項目）

1. 各種医療費助成制度等の維持継続について
2. 要介護透析者への支援強化について
3. CKD（慢性腎臓病）への取組について
4. 腎臓病患者の救急医療について
5. 透析医療の安全について
6. 患者中心の透析医療について
7. 透析患者への大災害対策について
8. 再生医療と臓器移植について
9. 就労支援について

③都議会各党とのヒアリング

9月6日（火）東京都議会自民党、9月8日（木）都民ファーストの会東京都議団、都議会公明党、都議会立憲民

主党、10月11日（火）日本共産党東京都議団と懇談しました。今年度は人数を制限して訪問し、各種医療費助成制度の維持継続、CKD対策、新型コロナウイルス感染症に対する透析医療の諸問題について万全な対策をしていただくよう要請しました（機関誌「とうじんきょう」No.239秋号に要約を掲載）。

④第52次国会請願運動

第52次国会請願は、新型コロナウイルス感染症により、全腎協より一括して各都道府県紹介議員に郵送して国会へ提出をお願いしました。

東京の紹介議員は衆参厚生労働委員の石田昌宏参議院議員（自民）、山口那津男参議院議員（公明）、川田龍平参議院議員（立憲民主）、宮本徹衆議院議員（共産）の4名の国会議員にお願いしました。東京の署名数は全腎協4、788筆（昨年5,753筆）、

募金は480,240円（昨年596,740円）でした。会員の皆様のご協力に感謝いたします。

（3）東腎協結成50周年記念事業報告

①東腎協結成50周年記念大会
10月30日（日）主婦会館プラザエフ7階カトリアにて対面で開催しました。コロナ禍で対面式での開催は3年ぶりとなりました。会場には、患者会・個人会員・一般参加者48名、東京都・来賓・関係者8名、講師・司会2名、理事・関係者15名の総勢73名の参加となりました。

記念講演は「腎臓再生医療の現状と展望」のテーマで、東京慈恵会医科大学副学長・腎臓高血圧内科主任教授 横尾隆先生にご講演を頂きました。異種移植や再生医療の現状と、臨床応用に向けて最終段階に入った再生腎臓の取り組みについて、今日までの経

過と今後の展望について講演を頂き出席者には大変好評でした。(機関誌「とうじんきよう」No.240冬号に掲載)

②「会員実態調査」報告

結成10年毎の節目の年に行っている会員実態調査を6月から7月にかけて実施しました。調査票は全会員に配布し、1035人の方にご回答いただきました。ご協力に感謝いたします。調査内容は、東腎協が行ってきた過去5回の調査内容との連続性を考慮し、①会員の属性、②透析療法に関すること、③日常生活に関すること、④就労状況、⑤経済状況、⑥介護保険の利用状況、⑦災害対策に関すること、⑧東腎協・全腎協に期待すること、に、「事前指示書の作成の有無」を新たに加えました。分析については単純集計や性別、年齢別、透析歴別等のクロス集計を行い、必要に応じ30周年及び40周年の実態調

査や日本透析医学会の調査との比較を行い分析しました。

③50年誌「あゆみ」の発行

50年誌「あゆみ」は、東腎協結成以来10年毎に発行してきました。今回は文字も判型も大きくして読みやすくしました。また、内容では、「写真で見る東腎協の歴史」「結成50年 先人への感謝と笑顔で暮らせる未来へ」、資料編では歴代の役員名簿を掲載しました。長期透析者は「50年以上」「40年以上」「30年以上」の透析患者のお名前を掲載しました。最後に「透析診療報酬の変遷と東腎協の活動年表」を掲載しました。

(4) 社会貢献事業活動報告

①第41回臓器移植普及推進キャンペーン(主催・東腎協、共催・東京都)

10月2日(日)新型コロナウィルス感染症の拡大により、2019年以来3年ぶりに第

41回臓器移植普及推進キャンペーンが井の頭恩賜公園で開催されました。共催の東京都福祉保健局疾病対策課(献血移植担当)、東京医科大八王子医療センター、東京女子医大医移植者の会「あけぼの会」、東腎協会員など総勢34名で開催しました。

まだコロナの第7波の影響もあり、参加者は例年の半数となりましたが、意思表示カード入りポケットティッシュ約3000個全腎協名入りゴム風船約600個を配布しました。

②臓器移植に関するメディアワークショップ(主催・NPO法人グリーンリボン推進協会)

9月12日(月)WEB+対面国民に臓器移植、臓器提供への関心と理解を広げるための普及啓発活動の一つとして、メディアの方々には正しい情報を伝え知ってもらう活動とし

てメディアワークショップを開催しました。

③臓器移植推進グリーンリボンパレード(主催・NPO法人グリーンリボン推進協会)

10月16日(日)一般都民へ臓器提供および臓器移植医療に対する理解を深めるためのイベントとして2019年以来3年ぶりに、青山学院大学学友会吹奏楽バトントリング部を先頭に日比谷公園へ数寄屋橋へ八重洲(鍛冶橋跡)まで街頭パレードをしました。全腎協、心臓病の子供を守る会、日本移植者協議会、胆道閉鎖症の子供を守る会、ニユーハートクラブ、東腎協など共催団体などから約100名が参加しました。

④第33回腎臓病を考える都民の集い(主催・東腎協 共催・東京都)

2023年3月12日(日)都民ホールにおいて3年ぶり

に対面式で行いました。講師の酒井謙先生、小澤尚先生、共催の東京都福祉保健局疾病対策課渡部ゆう課長、主催の東腎協からは戸倉会長が挨拶し、約40名の参加がありました。

(4) 委員会活動報告

①政策行政委員会

委員長 古暮 宏

2022年度政策行政委員会活動は、新型コロナウイルス蔓延の影響を大きく受け、予定していた計画の多くが実施できませんでした。最も重要な東京都への予算要望は、透析患者に対する各種医療費助成制度等が維持継続される他要望事項に一定な前向きな回答を得ることが出来ました。

②災害対策委員会

委員長 戸倉 振一

2022年度は新たな動きとして、透析医療ネットワークのブロック単位や区市町村単位の先進的な事例が、東京

都福祉保健局疾病対策課でまとめられ、東京都特殊疾病対策協議会腎不全対策部会で提示されました。このため、2023年度はこの資料をもとに、患者の立場からも区市町村の災害時に透析医療を確保する取り組みを進めていきます。また、東京都区部災害時透析医療ネットワークが改定した患者向けマニュアルを参考にし、患者に対する啓発を進めていきます。

③総務委員会

委員長 須賀 春美

定款第3章役員・その他(種別及び定数)第13条(1)「理事15人以上35人以内」を「理事5人以上35人以内」と改訂することを第17回総会に議案提案し承認されました。

④広報委員会

委員長 板橋 俊司

機関誌「とうじんきょう」No.237号からNo.240号まで

4号発行しました。ホームページの更新管理を行いました。

(5) 関連する他団体との活動

①全国腎臓病協議会

2022年度は東腎協から戸倉振一会長と板橋俊司事務局長が、中長期運営委員会、社会保障委員会、災害対策委員会、組織対策委員会、50周年記念事業委員会の委員として活動しました。

②全腎協関東ブロック

関東ブロック会議は新型コロナウイルス感染症の拡大により、第95回から97回(5/21、10/9、2/12)の会議(Zoom)を開催し、各都県の活動・組織状況、新型コロナウイルスの感染状況、2023・24年度全腎協関東ブロック担当理事の推薦などについて協議を行いました。

③東京難病団体連合会

○2022年5月29日総会が行われ原田久夫氏が理事長に選出されました。東腎協より古暮宏が理事に選任されました。

○8月2023年度東京都予算要望を提出。10月24日東京都回答(WEB)がありました。
○都議会各派ヒアリング、9月7日自由民主党、立憲民主党、9月8日都民ファースト、公明党、共産党

○12月13日 小池百合子東京都知事のヒアリングが都庁で行われました。

○2023年1月26日 厚生労働相伊佐進一副大臣とのヒアリングが行われました。

(6) その他の事業報告

①はんぶん米

東京都の「災害備蓄米『はんぶん米』」について、2022年度備蓄不足から東腎協への寄贈は行われなかった。2023年度は寄贈される予定です。

2023年度事業計画(案)

2022年度、特定非営利活動法人東京腎臓病協議会

(以下、東腎協)は、創立50

周年という大きな節目の年を迎えました。50年前、私たちの先人による命をかけた活動により東腎協は結成し、今まで「いつでも、どこでも、

誰でも安心して透析が受けられる医療体制」を堅持するために活動を継続してきました。

2023年度も先人の意思を引き継ぎ現在直面している諸課題に取り組めます。具体的な事業は以下の通りです。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5月8日より5類となり、季節性インフルエンザと同等の扱いになります。また、透析患者の重症化率が低下してきたことから、感染対策に十分

に配慮しながら、対面での開催を進めていきたいと考えています。

1. 「いつでも、どこでも、誰でも安心して透析が受けられる医療体制」の継続、全腎協・東腎協の組織強化を目指して

(1) 国への要望の窓口として全腎協の重要性

①「いつでも、どこでも」透析医療が受けられる医療体制の継続。

②医療保険制度における透析医療の患者負担限度額(1万円から2万円)の継続(高額長期疾病「特定疾病」に係る高額療養費の特例)。
③身体障害者福祉法に基づく腎機能障害者認定の継続。

(2) 東京都への要望窓口として東腎協の重要性

①人工透析医療費助成制度(マル都)の継続
②心身障害者医療費助成制度(マル障)・福祉手当等の継続。

(3) 腎臓病患者の社会復帰・QOL向上に資する活動。

①東京都透析医会災害対策委員会、東京都区部災害時透析医療ネットワーク、三多摩腎臓病治療医会との連携・災害対策の推進。
②CKD予防啓発(都民の集い)・臓器移植対策(臓器移植キャンペーン)・医療機関との協力。
③厚生労働省がとりまとめた「腎疾患対策検討会報告書(H30・7)」腎疾患対策のさらなる推進を目指して「」の達成すべき目標の東京都での推進。

④「災害時における透析医療活動マニュアル」(東京都福祉保健局2020年改訂)の各地域での具体化。

⑤透析患者の生活の質(QOL)の向上に資するため、「腎臓リハビリテーション」が必要な患者がリハビリテーションを受けられるための取り組み。

⑥運動療法の一環として「東京歩こう会」の開催。

⑦新型コロナウイルス、安全な医療体制、透析患者のワクチン接種についての情報収集と腎臓病患者への情報発信の取り組み。

(4) 人生の最終段階に透析患者が望む医療とケアの推進

①人生の最終段階に透析患者が望む医療とケアが受けられるような医療体制構築のための要望活動への取り組み。

②人生の最終段階の医療とケ

アについて、患者にとって最良の選択を行うために繰り返し話し合うプロセスである共同意思決定（shared decision making：SDM）と本人が家族等や医療・ケアチームと事前に繰り返し話し合うプロセスであるアドバンス・ケア・プランニング（advance care planning：ACP）について学習会の開催。

2. 患者会の存続・強化を目指して

（1）患者会を存続させていくため、必要な対策を推進します。

（必要な対策）

①病院患者会活動への支援（機関誌の配布・会費集金などの代行）。

②個人会員の会費、企業・団体の協賛金、寄付金等による安定収入確保への取り組み。

③腎臓病患者のQOL向上のため、患者の体験（機関誌、HP等で発信）を通じて、社会的認知の向上と患者から必要とされる団体を目指す取り組み。

④透析歴が初期、中期、長期、年代別の交流と親睦を深める機会を増やす取り組み。
⑤移植者（経験者）・保存期の患者への活動の輪を広げる取り組み。

（2）未組織施設への取り組み

東京都透析医会、東京都区部災害時透析医療ネットワーク、三多摩腎疾患治療会にご支援いただき「NPO法人東腎協機関誌・入会パンフレット常備のお願い」文書を約200施設（東腎協患者会のある68施設を除く）へ郵送し東腎協の活動を理解してもらうための取り組み。

東京都の透析施設（約400施設）の多くの施設に、東腎協機関誌、入会パンフ等が

常備されることによって、多くの患者さんに東腎協、全腎協を知ってもらい、将来的な会員増強となる取り組み。

3. 2023年度の事業計画

（1）社会貢献事業

①「第41回臓器移植キャンペーン」
10月1日（日）に井の頭恩賜公園で東京都と共催で開催。

②グリーンリボンパレードの開催

今年度も「臓器移植推進連絡協議会（臓移連）」と共催し、10月に「臓器移植推進グリーンリボンパレード」を開催。

③東京都への「2024年度予算要請」

8月に東京都へ「2024年度予算要請」を行います。行政・政策委員会を中心に要請内容をさらに深めます。

（要請内容・予定）

1) 各種医療費助成制度の維

持継続

2) 要介護透析者への支援強化
3) CKD（慢性腎臓病）予防への取り組みの推進

4) 腎臓病患者の救急医療対応について

5) 透析医療の安全確保について

6) 透析患者の地震を中心とした大規模災害発生時の対策について

7) 再生医療の早期実現と臓器移植の普及推進について

8) 腎臓病患者の就労支援について

9) 透析導入の見合わせ、治療の中断について

④第53次国会請願署名活動

全腎協主催で52年間継続している「国会請願署名活動」は、今後も継続し取り組みベキ重要な活動です。地道に確実に取り組み、国とのパイプを維持すべき活動として取り組みます。署名活動の取り組み期間は2023年10月から

2024年1月までとします。

⑤腎臓病を考える「第35回都民の集い」の開催

広く一般市民に腎臓病の早期発見、早期治療を啓蒙するため、2024年3月に「第35回腎臓病を考える都民の集い」を東京都と共催で開催します。マスコミ・医療施設・公共施設等への宣伝を強化して。今まで以上の取り組みを目指します。

(2) 首都圏大災害への対策

①東京都透析医会災害対策委員会、東京都区部災害時透析医療ネットワーク、三多摩腎疾患治療医会との連携

東京都透析医会が運用する、緊急時透析情報共有マップینگシステムTokyoDIEMASのデータを活用した、患者ポータルサイトの運用実現に向けた取り組みを進めます。

②「災害時における透析医療

活動マニュアル改訂版」(東京都福祉保健局)

○改定の具体的な内容について機関誌、学習会等で広報活動への取り組み。

○「東腎協災害対策マニュアル」、災害手帳の改訂および必要な対策への取り組み。
○医療者サイドの区市町村ごとの災害対策の進捗状況について情報収集への取り組み。

③東腎協の災害対策として「患者会会員名簿」の更新・作成と、災害時緊急連絡網の整備。

(3) 広報活動

①機関誌発行年4回を堅持する

機関誌「とうじんきょう」を1、5、7、10月の4回発行。

②ホームページの管理・更新

HPはイベントやお知らせの情報を遅滞なく細かく掲載

し、メールでの問い合わせや資料請求などに迅速な対応。また、慢性腎臓病(CKD)患者向けの情報発信を充実し、個人会員入会への促進のための取り組み。

③対外的広報活動を強化する
新聞、テレビ、ラジオなどに東腎協が主催する事業の広報活動と医療施設や関係団体への情報提供の強化。

④広報の営業活動を強化する
東腎協の活動を理解いただき協力いただく、賛助会員の増加に取り組み、バックアップ体制の強化を目指します。

⑤慢性腎臓病(CKD)患者の入会を強化します

透析導入前の腎臓病患者の入会を強化し、腎臓病患者のグループ化を目指します。

(4) 事務局・組織活動

①総会・理事会・正会員会議

1. 第18回総会は6月4日(日)東京都障害者福祉会館(田町)で開催します。新型コロナウイルスの感染状況によっては、昨年同様リモートによる総会と書面評決で行います。
2. 理事会開催は原則的に毎月開催します(8、12月は必要に応じて開催)。
3. 三役会議(会長、副会長、事務局長)を毎月開催します。なお、必要に応じて拡大三役会(三役、ブロック長、各委員会委員長)を開催します。
4. ブロックごとに、年2回正会員会議を開催します。

②事務局体制の強化

事務局は現在3人で運営しています。厳しい財政事情の中ではありますが、有効的な財政運営を心がけ、健全財政に向けて努力します。広報、財務、組織管理など会員、役員さんの個人能力や経験を積極的に活用します。

③ブロック体制の強化

23区ブロックと多摩ブロックの2ブロック体制とします。会員・役員の皆様のご協力を得ながら組織の強化を図ります。

④QOL向上委員会

透析患者の生活の質（QOL）の向上に資するため、「腎臓リハビリテーション」を中心的テーマとして取り組みます。

新型コロナウイルス感染症

の分類が5月より5類となり、季節性インフルエンザと同等の扱いとなります。感染症対策に十分に配慮しながら、「東京歩こう会」や「趣味の会」などの催しや企画を行います。

⑤青年部活動

全国の道府県の青年部と情報共有し、青年層の把握など基本的な活動から見直していきます。

○全腎協青年研修会及び関東ブロック青年交流会への参加
○東腎協青年部主催のイベント

トの開催（コロナの感染状況により時期・内容・方法等は未定）

青年部では部員になりたい方を随時募集中です。（50歳未満の会員の方）東腎協事務局までご連絡下さい。

（5）その他の事業活動

①関連する他団体との共同事業を積極的に推進します。

②（一社）全腎協・NPO東難連と協働し、一般市民へ腎臓病の予防や検診について広く啓蒙活動を行います。

③福祉・移送相談推進事業、腎臓病患者の食事療法に関する事業など腎臓病患者の自立支援のための活動を行います。

（6）東腎協大会の開催

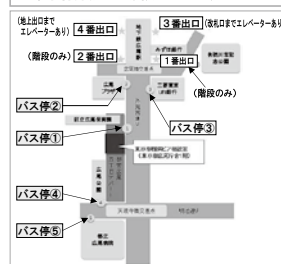
記念講演と透析30周年表彰を行う予定です。

難病になっても展 日替わりプログラム（会場：東京都難病ピア相談室）

日程	時間	プログラム内容・担当者	実施方法・申込み方法等
5/23(火) 5/24(水)	13:30～16:00	難病おくり相談 清水電氏(東難連副理事長・薬学博士)	※要事前予約、面談・オンライン可 ・お申込み(メール) tounanren@mx5.ttcn.ne.jp
5/23(火) 5/26(金)	13:30～16:00	福祉機器展示と説明 フランスベド(株)小久保寿基氏	・日常生活用具と関連資料を展示、福祉機器専門の担当者が説明、質問対応。
5/26(金)	13:30～16:00	難病コミュニケーション支援体験会 (株)日立ケーイーシステムズ 廣瀬貴裕氏	・意思伝達装置「伝の心」のデモ体験。 ・その他、関連資料を展示。

・お問合せ先：TEL&FAX 03-3321-0300、メール tounanren@mx5.ttcn.ne.jp

東京都難病ピア相談室への交通アクセス



住所 〒150-0012 東京都渋谷区広尾 5-7-1
東京都庁舎南1階
TEL 03-3446-1144(予約・問合せ専用)
＜地下鉄利用＞
・東京メトロ日比谷線「広尾駅」下車徒歩3分
【エレベーター・エスカレーター設置出口】
3番出口：ホームから改札まで
4番出口：ホームから地上出口まで
※1番・2番出口は階段のみですので、ご注意ください。
＜バス利用＞
・バス停(1)「広尾駅前(広尾橋)」下車徒歩3分
・バス停(2)「広尾駅前(新橋駅前又は東京タワー)」下車徒歩1分
・バス停(3)「広尾駅前(品川駅)」下車徒歩3分
・バス停(4)「品川駅」下車徒歩3分
・バス停(5)「品川駅」下車徒歩4分
・バス停(6)「品川駅」下車徒歩4分
・バス停(7)「品川駅」下車徒歩4分

東京都立中央図書館への交通アクセス



住所 〒106-8575 東京都港区南麻布 5-7-13
TEL 03-3442-8451(代)
＜地下鉄利用＞
・東京メトロ日比谷線「広尾駅」1番出口から徒歩8分
＜バス利用＞
・都営バス 橋 86 系統(目黒駅前～新橋駅前・東京タワー)「愛育クリニック前」徒歩2分(※新橋駅前発目黒駅前行きは平日及び土曜日のみの運行)
・港区コミュニティバス(ちび子)麻布西ルート(運行間隔 20分)「愛育クリニック」徒歩2分
＜有価証券センター利用＞
・C2-13麻布運動場 徒歩2分
・C2-05ありすいききプラザ 徒歩3分
＜車の来場＞
・利用用として約20台分の駐車場があります。
・そのほか、障害者等のスペースとして、2台分を用意しています。
※台数に限りがあるため、できるだけ公共交通機関での来場をお願いします。
※駐車場入口前の道路は一方通行です。テニスコート側からお進みください。愛育クリニック側からは進入できませんので、ご注意ください。

難病になっても展 2023

東難連設立50周年・法人化20周年・5月23日「難病の日」記念

一難病になっても笑顔で自分らしく「活力ある生活」を！「人生を生き生き」と！

設立50周年・法人化20周年を迎えた東京難病団体連絡協議会の歴史とその役割、

加盟する患者団体のパネル展示と難病患者・家族のための日替わりプログラム、

難病になっても安心して暮らせる社会の実現を呼び掛ける企画展を

東京都立中央図書館の協力のもと2つの会場で開催いたします。

(※展示と日替わりプログラムの会場は、東京都難病ピア相談室です)

5/23(火)・24(水)

13:30～16:00

「難病おくり相談」

(事前予約・オンライン可)

担当：清水電氏(東難連

副理事長・薬学博士)

◆日 時：2023年 5月 23日(火)～5月 27日(土)

◆会 場：ピア相談室 11:00～16:00、図書館(平日)10:00～21:00・(土曜日)10:00～17:30まで開館

【展示・関連イベント】東京都難病ピア相談室 〒150-0012 東京都渋谷区広尾 5-7-1 東京都庁舎南1階

【難病に関する本の展示】東京都立中央図書館 〒106-8575 東京都港区南麻布 5-7-13

◆主 催：特定非営利活動法人 東京難病団体連絡協議会（略称：東難連）

◆協 力：東京都立中央図書館

◆後 援：東京都、渋谷区、港区

◆協 賛：フランスベド株式会社、株式会社日立ケーイーシステムズ

◆参加団体：全国膠原病友の会 東京支部、全国多発性硬化症友の会 東京支部、東京都パーキンソン病友の会、

東京進行性筋萎縮症協会、東京腎臓病協会、日本リウマチ友の会 東京支部、

日本 ALS 協会 東京都支部、東京都心臓病の子どもを守る会、再生つばさの会 東日本支部、

東京都脊髄脊髄骨化症患者会、国分寺難病の会、オスラー病患者会 関東支部、

全国脊髄小脳変性症・多系統萎縮症友の会(関東地域)、

全国ファミリー病患者と家族の会、NPO 法人全国ポネ病患者と家族の会 関東支部

＜お問合せ先＞ 特定非営利活動法人 東京難病団体連絡協議会（東難連）

E-mail tounanren@mx5.ttcn.ne.jp TEL&FAX 03-3321-0300

URL http://www.tounanren.org/



貸借対照表

2023年 3月31日現在

一般会計

(単位：円)

科 目	金 額	
【資産の部】		
流動資産		
現金預金	20,128,348	
未収金	365,000	
流動資産合計	20,493,348	
固定資産		
什器備品	3	
保証金	585,000	
固定資産合計	585,003	
資産合計		21,078,351
【負債の部】		
流動負債		
未払金	1,603,637	
前受金	148,500	
預り金	6,980	
流動負債合計	1,759,117	
負債合計		1,759,117
【正味財産の部】		
正味財産		19,319,234
(うち当期正味財産増加額)		△4,298,995
負債及び正味財産合計		21,078,351

財産目録

2023年 3月31日現在

一般会計

(単位：円)

科 目	金 額	
【資産の部】		
流動資産		
現金手許有高	60,498	
郵便振替(南大塚郵便局)	8,436,575	
ゆうちょ銀行(南大塚郵便局)	20,377	
普通預金(三菱UFJ銀行)No.1	2,486,158	
普通預金(三菱UFJ銀行)No.2	624,740	
定期預金 三菱UFJ銀行	7,500,000	
ゆうちょ銀行 (定期預金)	1,000,000	
未収金	365,000	
流動資産合計	20,493,348	
固定資産		
什器備品	3	
保証金	585,000	
固定資産合計	585,003	
資産合計		21,078,351
【負債の部】		
流動負債		
未払金	1,603,637	
前受金	148,500	
預り金	6,980	
流動負債合計	1,759,117	
負債合計		1,759,117
正味財産額		19,319,234
(うち当期正味財産増減額)		△4,298,995
負債及び正味財産合計		21,078,351

2022年度 特定非営利活動に係る事業会計 収支報告書

(自2022年4月1日～至2023年3月31日)

	2022年度決算	2022年度予算	予算比	
(1)会費収入	9,305,100	10,520,000	88.5%	
会費収入	8,565,100	9,720,000	88.1%	
賛助会費収入	740,000	800,000	92.5%	62件
(2)事業収入	104,769	284,600	36.8%	
提携手数料収入	4,769	1,000	—	丸大食品ギフト販売
都民の集い事業収入	100,000	100,000	100.0%	
「ぜんじんきょう」 発送費助成	0	183,600	0.0%	
(3)寄付金収入	1,625,638	2,600,000	62.5%	
寄付金収入	1,145,398	2,000,000	57.3%	扶桑薬品、50周年事業
募金収入	480,240	600,000	80.0%	国会請願募金
(4)その他の収入	1,044,103	1,390,000	75.1%	
受取利息収入	143	0	0.0%	預金利息
資料印刷代収入	18,560	10,000	185.6%	患者会等資料印刷代等
物品販売収入	32,900	0	# DIV/0!	透析バンザイ
関東ブロック東京収入	0	0	0.0%	
全腎協助成金	200,000	250,000	0	特区チャレンジ、50周年助成金
雑収入	0	0		
機関誌広告収入	792,500	1,130,000	70.1%	機関誌広告折込、HP バナー、名刺広告他
収入合計	12,079,610	14,794,600	81.6%	
(1)腎臓病に関する知識の普及と予防等を促進する事業	4,960,892	6,830,000	72.6%	
腎移植キャンペーン事業	242,620	300,000	80.9%	運営諸費用
都民の集い事業	155,726	200,000	77.9%	運営諸費用
機関誌発行事業	2,365,043	2,330,000	101.5%	機関誌制作・印刷・発送費用
ホームページ管理事業	0	60,000	0.0%	
知識の普及事業	2,197,503	3,940,000	55.8%	ブロック活動、各委員会諸活動、50周年事業
(2)腎臓病患者の自立を支援するための相談事業	0	0		
自立支援事業	0	0	0.0%	
(3)腎臓病患者の医療体制の充実と福祉の向上を図る事業	11,582	50,000	23.2%	
都庁予算要請事業	11,582	50,000	23.2%	予算要請行動他
(4)関連他団体との協同事業	3,042,040	3,491,000	87.1%	
国会請願事業	69,000	90,000	76.7%	全腎協へ15%上納他
全腎協他に協力する事業	2,973,040	3,401,000	87.4%	全腎協分担金（機関誌買取分¥113,680を含む）、東難連活動費（¥55,540）等
(5)福祉移送相談推進事業	0	0	0.0%	
福祉移送事業	0	0	0.0%	
(6)腎臓病患者の食事療法に資する事業	0	0	0.0%	
低蛋白米の広報事業	0	0	0.0%	
小学校食育指導事業	0	0	0.0%	
(7)腎臓病患者の災害対策事業	0	120,000	0.0%	
災害対策訓練事業	0	120,000	0.0%	
事業費合計	8,014,514	10,491,000	76.4%	
給料手当	1,410,000	2,040,000	69.1%	固定給
雑給	1,995,630	1,380,000	144.6%	変動給
法定福利費	0	15,000	0.0%	
通勤交通費	282,122	510,000	55.3%	3名分
保険料	18,500	20,000	92.5%	火災保険
事務局家賃	2,156,000	2,156,000	100.0%	家賃
リース料	778,800	780,000	99.8%	リース料金
水道光熱費	167,910	135,000	124.4%	水道・電気代
通信運搬費	740,709	600,000	123.5%	会員・患者会宛通信費
支払手数料	68,443	78,000	87.7%	振込手数料等
会議費	28,824	150,000	19.2%	理事会交通費、役員会
事務局管理費	274,065	295,000	92.9%	パソコン保守料
事務局運営費	89,022	70,000	127.2%	マットモップ、ウォーターサーバー
事務用消耗品費	336,641	210,000	160.3%	
慶弔交際費	16,500	50,000	33.0%	山口監事
消耗品費（透析バンザイ）	0	0	—	
雑費	925	50,000	0.0%	
管理費合計	8,364,091	8,539,000	98.0%	
支出合計	16,378,605	19,030,000	86.1%	
収支差額	△ 4,298,995	△ 4,235,400	101.5%	
次期繰越収支差額	19,319,234	20,933,690	92.3%	2022年度期首繰越金23,618,229円

2023年度 特定非営利活動に係る事業会計 予算案

勘定科目		金 額	内 訳
収 入	会費収入	7,000,000	会員数1,500名
	賛助金収入	800,000	
	提携手数料収入	1,000	丸大食品ギフト販売
	募金収入	500,000	国会請願募金等
	寄付金収入	60,000	扶桑薬品工業（5,000円／月）
	資料印刷代収入	3,000	コピー使用料
	広告料収入	1,000,000	機関誌広告料、HPバナー広告等
	都民の集い協賛収入	100,000	全腎協補助金
	全腎協会報発送費収入	183,600	全腎協補助金
	全腎協特区チャレンジ	100,000	全腎協補助金
	関東ブロック事務局費	100,000	全腎協関東ブロック
	受取利息	0	
	雑収入	0	
	収入合計	9,847,600	
事 業 費	腎移植キャンペーン	200,000	井の頭公園
	都民の集い	150,000	
	機関誌発行事業	2,170,000	機関誌「とうじんきょう」発行
	ホームページ	60,000	更新料等
	組織活動費	405,000	ブロック活動、青年部、総会等
	QOL向上事業	30,000	東京歩こう会等
	全腎協大会参加費	0	
	関東ブロック	0	
	国会請願募金	75,000	全腎協へ募金の15%
	低蛋白米広報	0	
	災害対策事業	10,000	委員会等
	他団体との提携	26,000	東難連会費、障定協等
	全腎協協力金	2,340,000	1,800名 @150円／月
	事業費合計	5,466,000	
管 理 費	給料手当	1,200,000	事務局人件費（固定給）
	雑給	1,374,120	事務局人件費（変動給）
	通勤交通費	510,000	通勤定期代
	法定福利費	15,000	労働保険料
	損害保険料	0	火災保険
	事務局家賃	1,980,000	165,000円／月
	リース料	800,000	印刷機器リース料
	事務局管理費	272,580	αメール、サーバー、インターネットセキュリティ
	水道光熱費	135,000	水道・電気使用料
	通信運搬費	600,000	配送料等
	支払手数料	78,000	送金手数料等
	会議費	50,000	理事会交通費等
	事務局運営費	70,000	
	事務用消耗品費	250,000	
	慶弔交際費	50,000	
	租税公課	0	
	雑費	0	
	管理費合計	7,384,700	
支出合計		12,850,700	
収支差額		△ 3,003,100	
次期繰越収支差額		16,316,134	2023年度期首繰越額19,319,234円

監査報告書

2023年 4月 14日

特定非営利活動法人
東京腎臓病協議会
会長 戸倉振一殿

特定非営利活動法人
東京腎臓病協議会

監事 梅原 秀孝



私たちは、2022年4月1日から2023年3月31日までの会計及び業務の監査を行い次の通り報告いたします。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿ならびに関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、月次の報告書を確認し、又理事等から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて業務の執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 収支計算書、貸借対照表、財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財産状態を正しく示しているものと認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実と認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上

2023・24年度NPO東腎協理事・監事推薦名簿

No.	役職名	氏名	ふりがな	ブロック	患者会名・個人
1	理事(留任)	古暮 宏	こぐれ ひろし	23区B中南部	腎内科クリニック世田谷患者友の会
2	理事(新任)	丸山 春良	まるやま はるよし	23区B中南部	個人会員
3	理事(留任)	松本 茂利	まつもと しげとし	23区B中南部	個人会員
4	理事(留任)	須賀 春美	すが はるみ	23区B中南部	虎の門・高津会(本院)
5	理事(留任)	戸倉 振一	とくら しんいち	23区B東 部	森山友の会
6	理事(留任)	酒井 豊	さかい ゆたか	23区B東 部	菊川橋クリニック腎友会
7	理事(留任)	金井 信憲	かない のぶのり	23区B東 部	新江東橋クリニック腎友会
8	理事(留任)	野口 忠男	のぐち ただお	23区B東 部	清湘会記念病院腎友会
9	理事(新任)	成田 哲也	なりた てつや	23区B東 部	西クリニックひまわりの会
10	理事(留任)	大友 晴雄	おおとも はるお	23区B東 部	西クリニックひまわりの会
11	理事(留任)	三好 かおり	みよし かおり	23区B北 部	高松医院腎友会
12	理事(留任)	長澤 浩	ながさわ ひろし	23区B北 部	あかまつ透析クリニック腎友会
13	理事(留任)	横溝 久美子	よこみぞ くみこ	多 摩	長久保ハナミズキ会
14	理事(留任)	板橋 俊司	いたばし しゅんじ	多 摩	日野クリニック腎友会
15	理事(留任)	岡田 和友	おかだ かずとも	多 摩	平山腎友会
16	理事(留任)	小林 正和	こばやし まさかず	多 摩	昭島腎クリニックひまわり会
17	理事(新任)	依田 滋	よだ しげる	23区B中南部	個人会員・賛助会員
18	理事(新任)	井上 隆臣	いのうえ たかおみ	23区B東 部	新江東橋クリニック腎友会
19	理事(再任)	清水 陽介	しみず ようすけ	多 摩	すながわ相互診療所患者会いずみ
20	理事(新任)	須藤 幸子	すとう さちこ	多 摩	個人会員

監事

No.	役職名	氏名	ふりがな	ブロック	患者会名
1	監事(留任)	梅原 秀孝	うめはら ひでたか	多 摩	府中けやき会
2	監事(新任)	村越 京子	むらこし きょうこ	多 摩	八王子東町クリニック桑の実会

退任理事

No.	役職名	氏名	ふりがな	ブロック	患者会名
1	理事	榊原 靖夫	さかきばら やすお	23区B北 部	高中腎友会
2	理事	関口 新一	せきぐち しんいち	多 摩	国分寺こやま腎友会
3	理事	根津 恵子	ねず けいこ	多 摩	豊田クリニック患者会

退任監事

No.	役職名	氏名	ふりがな	ブロック	患者会名
1	監事	山口 登	やまぐち のぼる	23区B北 部	個人会員

とうじんきょう 活動の まど

第34回腎臓病を考える 都民の集い

3月12日（日）

3月12日（日）「第34回腎臓病を考える都民の集い」が東京都議会議事堂1F都民ホールで開催され、3年ぶりの対面式で約40名の参加がありました。

戸倉会長の開会のあいさつに続いて、共催の東京都福祉保健局疾病対策課渡部ゆう課長があいさつしました。

○講演Ⅰ

「慢性腎臓病（CKD）をよく知ろう」腎臓を守るために



（ ）60分

講師・酒井 謙 先生

東邦大学医学部腎臓学講座
主任教授

東邦大学医療センター大森病
院 副院長

○講演Ⅱ

「今日から実践！腎臓を守る
食事療法のコツ」

講師・小澤 尚 先生

小平北口クリニック院長

「腎臓病食品交換表」監修医
師

多摩ブロック勉強会

4月9日（日）

「透析患者さんに運動って必要
なんでしょうか？」
「透析中の運動療法へ挑戦」

4月9日（日）2023年

度多摩ブロック学習会が八王子クリエイトホール第5学習室で開催され役30名の参加者がありました。

講師・加藤伸二氏

長久保病院 臨床工学技士
腎臓リハビリテーション指導
士（日本腎臓リハビリテーシ
ョン学会認定）

4年ぶりの多摩ブロック学習会とあって、定員30名の学習室も久々に顔を合わせる会員さんの熱気がムンムンでした。

「ポスターを見ました」と会外の患者さんも参加。早速入会案内と同じクリニックの



会員さんを紹介しました。後日、入会届と入会金を頂きましたと連絡がありました。

講演後は座ってもできる運動を実施体験。狭い会場でしたが参加者も「とても勉強になりました」と喜んでいただきました。

講演の詳細内容は7月号（夏号）に掲載の予定。

(リレーエッセイ)

私と東腎協

学生運動の荒れた時代ではあったものの、私は某ミッション系の大学で隣にアメリカからの友人が普通に居るという生活を送っていた。別段英語が得意と思った事もないが自然の成り行きで某外資系の貿易商社に入社した。ところが数年を経て某外国人マネージャ付きの仕事を与えられ、主に広報担当として全国各地を飛び回る生活を送った。同時に企業内部活動にも積極的に参加し特に学生時代からのテニスを始め、バレーボールや野球等の企業間対抗試合へも呼ばれ強化合宿等にも参加する比較的能動的なサラリーマンであった。**社員検診で「再検査」**

そんなある年、社員一斉健康診断で「再検査」を申し渡された。病理検査では「尿に極少量の出血反応がある」との所見。但し顕微鏡でやっと分かる範囲なので激し

くスポーツをやった後等にはよく起こる反応とも言われた。この時から毎年同様再検査が言い渡され専門医を受診する事になった。しかし、A病院でもB病院でも原因が分からず「紹介状」をもってあちこちの病院を渡り歩いたが、その都度大量の薬剤を渡されるのみ。最終的に東京女子医大の東間先生(後の同大病院長)に行き着いた。「貴方の腎臓は片方の腎臓が二つに割れている先天性の奇形。それぞれの管から出ているバイパスからの微量出血の様。その状態では健康です。10年おきに見ていきましょう。但し50歳台頃、何がしかの腎臓特有の病変を起こす可能性は否定出来ません」。私の腎臓病及びその後の透析生活の開始を振り返ってみると、まさしくその通りの人生を送っている。

30代で旅行会社を起業

その後、相変わらずの忙しい生



活に忙殺されすっかり腎臓病の事等忘れていた。30代中盤より旅行会社を起業した。時は「一億総中流、バブルの時代、企業研修や社員旅行は殆ど海外」と言われた時代。羽田空港で「お疲れ様でした」と散会した後すぐに出発ロビーへ直行。「皆様こんにちは。添乗員の」と現代社会の様な労務管理等あったものではない。

不規則な食生活

必然的に食生活は不規則になる。私の体重もみるみる太り始め、90キロの巨漢になる。40代後半より「通風」を何度も発症し、遂には胃潰瘍で消化器内科のお世話になる始まりである。そしてある日、医師よりの宣告。「腎臓のクレアチニン値が上昇。腎臓内科専門医を受診して下さい」。若き日の忘れていた病気が再び意識される年代となってしまった。

その後十数年、「明日より透析

治療開始」の宣告を受けました。日本の高い医療水準のお陰で安心して透析生活を受ける生活がもう八年も続いています。

患者会との出会い

入院当初より「患者会」の存在を知り、地区の患者会に参加している内に、日本国内各地や海外へも臨時透析をして旅行している方々との出会いがありました。そうした方々との透析生活の互いの事柄等の情報交換をしている内に患者会の「理事」就任の要請を受け現在に至っています。

* * *

コロナ下の中、人との交流を極力避ける生活が続いておりましたが、やっとコロナ以前の生活に戻りつつあります。透析患者として留意して生活を送る事は勿論、自分の体力や気力を安定させる為にも様々な事柄に取り組む事も重要です。私はコロナ以前よりやっていた「社交ダンス」や時折仲間達との「シャンソニエで歌う会」等を再度開始致しました。身体がどうにも動かない時もありますが、全てが私の人生。「日々是好日」をモットーに日常の生活に取り組んで参りたいと思っています。

丸山春良さん(73歳)

透析歴8年

NPO法人東腎協理事
個人会員

東腎協監事

山口登さんを偲んで



山口登氏に想いをよせて

小野 誠（前副会長）

2023年2月26日夜8時過ぎ、東腎協事務局長板橋氏から電話を受けた。日頃は携帯メールで連絡する仲であるが、夜分の電話でもあり、何か起きたな？の感があったが、まさか山口登さんの計報であるとは思いつかないし、聞いた瞬間、何で、若いのに、あんなに逞しくて円満な人か、という思いでした。

彼の趣味というか、愛する

ものは一に家族、二にゴルフ、三に車、だったと。そしてお子さんやお孫さんのお話になる時はその顔が益々円満になり、とろける様なお顔になった、と思い出しながらご冥福を祈りました。

3月2日の告別式にお伺いし、柩の中の氏のお顔を拝しつつ、お世話になりました、とお礼を申し上げるとともに、次は天国でゴルフに興じましょう、とご挨拶しました。

告別式での喪主の息子さんのご挨拶の中で、その日は朝からメンバーであるゴルフ場で、午前にハーフをプレイし、昼食後のスタートに向かう時、その発作は起き、その日のプレイ仲間・ゴルフ場スタッフ・ドクターヘリによる大学病院での懸命な回復処置にもかかわらず意識回復することな

く逝去された、とのことでありました。病名は急性心筋梗塞。

改めて氏との付き合いを思い返してみると、氏との共通事項は透析患者で吉祥寺あさひ病院に通院する仲間であったこと。そして私は2007年にあさひ病院の患者会の会長として、会員増や会の充実を図るため悪戦苦闘していた所に氏と遭遇し、協力いただいたこと。当時は東腎協も理事が不足し活動に支障をきたしていたため理事にもなっていたいただいたこと。彼の家と私の家は同じ区内で3km程度の距離で、親しくなると年に2〜3度はゴルフを興じるようになった、ことなど。

そんな中、彼は透析の苦痛を訴え、ご家族からの生体腎移植を受け通院から解放されることで患者会から脱退され、個人会員になり、東腎協の理事も退任しましたが、監事だけは引き受けていただき、今

に至っています。

一方私も2010年右脚を粉砕骨折し、完治することなく、ゴルフは禁止スポーツとなりました。結果氏とお会いする機会も減り、個人的お付き合いも自然と減ったことが残念に思いますし、私も2017年に東腎協の理事を退任したこともそれに輪をかけたことになりました。

氏は伝統ある大学を卒業し、山岳部で活動し、頼もしく、誠実なお人柄です。アチラの世界でも今後の我々の活動を笑顔で見守ってくれることでしょう。

山口 登(やまぐち のぼる)2023年2月24日死去、享年75歳。
2008年～2012年東腎協理事、多摩ブロック長
2013年～2023年東腎協監事

事務局から

いました。

国会請願署名・募金御礼

《患者会》

扶桑薬品工業（株） 東京第一支店様

「ご寄付御礼」

「青い鳥ハガキご寄付御礼」

《患者会》

秋葉原腎クリニック腎友会

ご寄付ありがとうございました

「結成50周年記念事業寄付金」

《患者会》きよせ旭が丘記念病院

腎友会、聖橋クリニック腎友会、清湘会記念病院腎友会、長久保ハナミズキ会、清湘会東砂病院腎友会、吉祥寺あさひ腎友会、秋葉原腎クリニック腎友会、森山友の会、昭島腎クリニックひまわり会、柳原腎クリニック健腎会、あかまつ透析クリニック患者会

《個人会員》川田邦夫、岸本敦（敬称略）

たくさんのご寄付ありがとうございました

秋葉原腎クリニック腎友会、大島腎友会、大田病院腎友会、小笠原クリニック友の会、松和患者会、腎内科クリニック世田谷患者友の会、聖橋クリニック腎友会、虎の門・高津会（本院）、勝和なごみ会、新小岩クリニック友の会（新小岩・船堀）、新江東橋クリニック腎友会、清湘会記念病院腎友会、西クリニクひまわり会、深川橋クリニック腎友会、瑞江腎クリニック腎友会、森山友の会、柳原腎クリニック健腎会、あかまつ透析クリニック患者会、阿佐谷すずき腎友会、高松医院患者会、中野共立病院腎友会

絆の会、桃井診療所腎友会、優人クリニック患者会、めじろ台西澤クリニックめじろ会、日野クリニック腎友会、府中けやき会、平山腎友会、立花クリニック友の会、八王子東町クリニック桑の実会、昭島腎クリニックひまわり会、く にたち桜会、永山腎友会、きよせ旭が丘記念病院腎友会、あけぼの

東腎会サルビア、長久保ハナミズキ会、吉祥寺あさひ腎友会

《個人会員》（敬称略）

牧野淳子、佐藤玲子、南波成子、

川田邦夫、渡辺克己、岸本敦、堀口誠、菊地洋子、土屋哲夫、市原銀、内田利男、佐藤陽子、末木秀治、榊永照也、永田淑子、尾方利至、石山久美子、横山忠之、白坂徹夫、宮澤克人、渡邊陽介、湯田悦子、伊藤勝之、遠藤一男、青木厚子、関芳喜、加藤修一、廣山増廣、南澤孝志、佐々木実樹、高橋雍子、佐々木邦子、大野和子、島田範子、福島正昭、他匿名希望

たくさんさんの署名・募金ありがとうございました。

今後の活動予定

5月14日（日）

第10回東京歩こう会

5月28日（日）

第186回理事会

6月4日（日）

東腎協第18回総会（東京都障害者福祉会館・田町）

6月18日（日）

第187回理事会

7月9日（日）

23区ブロック第1回正会員、個人会員合同会議（予定）

7月23日（日）

第188回理事会

8月12日（日）～8月15日（火）

東腎協事務局夏季休暇（予定）

9月17日（日）

23区ブロック勉強会（予定）

9月24日（日）

第189回理事会

今年も「青い鳥郵便はがき」の無償配布にご協力ください

「青い鳥郵便はがき」は、日本郵便（株）が身体障害者及び知的障害者の福祉に対する国民の理解と認識をさらに深めることを目的とし、無償で配布しています。東腎協では、会員の皆様から「青い鳥郵便はがき」のご寄付をいただき、東腎協財政の一助になるようにご協力を願っております。

受付期間

2023年4月3日（月）から同年5月31日（水）まで

配布期間

2023年4月20日（木）以降
お申し込み方法

(1) 窓口での申込方法

窓口で配布の希望を申し込みます
る場合は、最寄りの郵便局（簡易
郵便局を除きます。）に身体障害
者手帳をご提示の上、「青い鳥郵
便葉書配布申込書」に必要事項を
ご記入の上、ご提出ください。なお、
代理人によるご提出も可能です。
お申し込み用紙は、郵便局の窓
口に備え置いています。

(2) 郵送でのお申し込み方法

郵送により配布の希望の申し込み
をする場合は、適宜の用紙に「青
い鳥郵便葉書配布申込書」と同等
の内容を記入し身体障害者手帳の
写しとともに最寄りの郵便局にご
郵送ください。

配布方法

2023年4月20日（木）以降、
最寄りの配達を受け持つ郵便局か
らお届けされます。郵便局の窓口
ではお渡ししておりませんのでご
注意ください。

編集後記

事務局長に就任して7年半が経
過した。気が付いたら73歳を超え、
普通の爺なら孫と戯れ自由気まま
な老後を過ごしているところだ。

こんな時に今度は全腎協事務局長
に任命された。あと二年で75歳だ。
これが宿命とはいえ、気力・体力
が持ち続けられるか不安な今日こ
の頃である。

先日、多摩ブロックの学習会が
3年ぶりに開催された。この間コ
ロナ禍であらゆる行事が中止にな
っていたせいが大盛況。「ポスタ
ーを見ました」と会外の患者さん
の参加も。早速入会の資料、同じ
クリニックの会員さんを紹介して
無事入会届・会費も受け取った。
こういう喜びが何よりも勇気づけ
られる。

（板橋）

〈事務局雑感〉

○（元氣よく）ただいまー！

久しぶりの雑感何を書こうか悩
みながら現状を知って頂くため簡
単に書きます。

昨年6月に脳内出血で倒れて右
半身麻痺となり、右手・右脚が動
かせない状態になりました。練馬順
天堂大学に入院後リハビリ病院
（武蔵野武蔵野市役所の隣）に転
院して4ヶ月チョット入院しまし
た。リハビリ頑張りました。歩け
なかったのが装具をつけ、杖を使
い10月下旬無事退院して自宅でリ
ハビリをしていましたが11月、シ

ヤントの7〜8cm血管が詰まりシ
ヤントの作り直し、天井がグルグ
ル回るほどのめまいが生じました。
今は治まっています。

2月より週1回、3月より週2
回の割合で事務局に復帰しました。

久しぶりの仕事、通勤で電車に
乗り通う事になりました。事務局
に通う事でいいリハビリになって
います。まだまだ不自由な事が多
いのですが、何とかこなしていま
す。皆様に大変ご心配ご迷惑をお
かけしました。ほちぼちと頑張っ
ていきます。

（三好）

○WBCで日本が全勝で優勝し、
サッカーワールドカップ同様に日
本中を虜にしました。準決勝では
劇的なサヨナラ勝ちを収め、決勝
ではアメリカと1点差の痺れる展
開で9回に大谷選手がストッパー
として登板し、エンゼルスで同僚
のトラウト選手を三振に仕留め、
漫画の物語のような劇的な勝利で
3度目となる優勝を果たしました。
決勝前での大谷選手の言葉で
「アメリカのチームには野球をや
っていたら誰しも聞いたことがあ
るような選手たちがいると思う。
憧れてしまっただけは超えられない、
僕らは今日超えるために、トップ

になるために来たので。今日一日
だけは彼らへの憧れを捨てて、勝
つことだけ考えていきましょう」
と声をかけました。この言葉には
すべての事柄にも通じるものがあ
るなあと感動しました。（松山）

○大変な世の中になってしまいま
した。約三年に渡るコロナの影響
に世界中が大騒ぎ。これ迄打った
事もないワクチンを5回も打ち、
人との接触を極力避ける日常生活。
ズーム会議や授業等、学生さんは
キャンパスにも通えないまま卒業
式を迎えました。その上に今度は
プーチンさんのお陰で世界的物量
不足。全てのコストが値上げされ
寒い冬も暖房無しの生活を強い
られるお年寄り達。プーチンさん、
貴方のお国にも透析患者は多いで
しょうに。保育園や産婦人科病院
にまで平気でミサイルをぶち込む
お人柄。爆弾を作るのはお得意で
も透析医療のダイヤライザー等に
は関心が無いのでしょうか。東レ
や二プロの優秀な技術は日本には
ありますが貴方には差し上げませ
ん。コロナで世界中が苦しんだ後
なのに早く世界平和の路線に目覚
めて下さいませ。日本の一透析患
者からの切なる願いです。（丸山）

健康で快適な生活をめざして

エルピスの製品は、腎臓機能の低下した方、透析療法を受けている方の栄養補助食品です

青ラベル

ビタミン臭を抑えた
スッキリ味

亜鉛 5.9mg
鉄 ゼロ

配合栄養成分 (1本50mlあたり)

	赤ラベル	青ラベル
カルニチン	200mg	200mg
BCAA	300mg	300mg
アルギニン	220mg	220mg
オルニチン	100mg	100mg
シトルリン	100mg	100mg
アスパラギン酸	100mg	100mg
ビタミンB群 7種	33.4mg	33.6mg
ビタミンC	30mg	30mg
α-Gルチン	50mg	50mg
鉄	3.1mg	0.0mg
亜鉛	3.0mg	5.9mg

カリウム 0.00mg リン 0.18mg



赤ラベル

2003年から
皆様に愛される

ロングセラー品

エルピス

合成
保存料
無添加

栄養ドリンク

どちらか
お選びください

1日の目安量：1本

販売価格 30本入り 6,480円 (税込)
10本入り 2,160円 (税込)

送料別途
(宅急便)

多く寄せられるメッセージ

「好き嫌いが多く、
食が細いので、
栄養バランスを
考えて。」

「透析で抜ける
栄養の補給に
最適だ。」

「透析を
受けている我々が
安心して飲める
栄養ドリンクだ。」

「良い体調を
保つために飲む。」

「からだがだるく、
足がつることが
多くなったので。」

ご購入・お問合せ



0120-393-578

【受付時間】 平日9:00~17:00
エルピス株式会社
大阪市淀川区西中島4丁目6-29

エルピス 栄養ドリンク 検索
<https://www.elpis-net.com>



透析と介護 ふたつの安心

介護施設への
入所が困難だった
透析患者の方に
グッド・ニュース

画期的な試みとして注目される介護施設内での人工透析

社会福祉法人むつみ会春陽苑は、介護老人福祉施設に医療施設「にこにこクリニック」を開設しており、介護と医療の両方から高齢者の方に安心をご提供しています。
特に介護が必要な高齢の透析患者の方に、入所して介護を受けながら、人工透析室で、透析を受け生涯を過ごしていただくという画期的な取り組みは、全国でも例を見ないもので、現在注目を集めています。

また、24時間スタッフによる医療・介護の管理の下透析を行った結果、通常の透析患者に比べて状態がとても良好で、特養での管理の下で行う透析の効果があることもわかってきました。
春陽苑は、介護が必要な透析患者の方にも、出来る限り透析を継続していただき、生きる喜びと輝きを持ち続けていただくことを願っています。

人工透析機を
常設！



▶透析室



▶個室

▶春陽苑全景



▶診察室

施設概要

●介護老人福祉施設

入所定員：124床（ショートステイ含む）
事業内容：【入所事業】介護老人福祉施設
短期入所生活介護

【在宅事業】通所介護・在宅介護支援
センター・居宅介護支援事業

●桜木支所

事業内容：居宅介護支援事業・地域包括支援センター
訪問介護

●介護老人保健施設 Lilyナースィングルーム

入所定員：100床（ショートステイ含む）
事業内容：【入所事業】介護老人保健施設
短期入所療養介護

【在宅事業】通所リハビリテーション
訪問リハビリテーション

【障害福祉サービス事業】短期入所



春陽苑にこにこクリニック

診療科目：内科・脳神経外科・腎臓内科・人工透析内科・皮膚科・精神科

入所料金

入所される方の生活状況により利用料が異なります。

参考事例：介護老人福祉施設春陽苑へ入所 要介護3（1割負担）の場合 （単位：円）

	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階
多床室	45,630	59,430	67,230	104,580

※保険単位数を基に少数を含む計算を行う為、実際の金額と誤差が生じる場合があります。
※上記の金額には、食費、日用品費、居住費、及び、体制加算が1日50円（30日で1,500円）がかかります。
※医療費は別にがかかります。
※等が含まれています。

アクセス



●JR大宮駅西口から西武バス「ららぽーと富士見行」または「所沢駅東口行」で「治水橋堤防」下車、徒歩3分
●JR埼京線指扇駅よりタクシーにて10分
●東武東上線三ツ橋駅よりタクシーにて13分
●お車の場合
新大宮バイパス→三ツ橋(3)の交差点を左折→県道56号線に入る→治水橋を越え一ツ目の信号を左折し荒川沿いの建物

【見学随時募集中】

相談
ダイヤル

TEL:048-625-0707

〒331-0068 埼玉県さいたま市西区飯田新田91-1 FAX:048-625-0755

ホームページのお問い合わせフォームもご利用ください。

<http://www.mutsumikai.net>

透析 春陽苑

で 検索！